

食育の日の献立を教材とした食育推進

ねらい 給食を見て、食べる行為をとおり、食育の効果的な指導を実施する。

実施方法

給食共同調理場は、食育の日（毎月19日）の前後に、「食育の日にちなんだ献立」を実施する。
 受配校は、「食育の日にちなんだ献立」を教材に、計画に基づき給食時間を中心に指導を行う。
 給食共同調理場は、学校の食に関する指導支援のため、献立に関する資料を送付する。



「食育の日にちなんだ献立」の方針

- ご飯を主食とし、主菜、副菜の一汁二菜が整った日本型の食事形態とする。
- ご飯には添加物をつけず、白米か麦ご飯とする。
- 旬の食材や地元の食材を使用するよう配慮する。
- 郷土料理や伝統料理の導入に留意する。

指導内容

中学生								
小学校								
6年生								
5年生								
4年生								
3年生								
2年生								
1年生								
内容	正しいはしの持ち方を身につける ①	三角食べを身につける（口中調味） ②	旬の食材を知る ③	地元の食材を知る ④	望ましい食事の組み合わせがわかる ⑤	健康によい食品や献立のあり方を理解する ⑥	郷土料理や伝統料理を知る ⑦	

指導計画 (例) (各学年の指導内容は、実態に応じ各学校で検討する。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中学生	②③ ⑥	③⑤ ⑥	③⑤ ⑥	③⑥	③⑦	③⑤ ⑥	③④⑤ ⑥⑦	④⑤⑥	⑥⑦	④⑤⑥	⑤⑥ ⑦	⑤⑥
小学生	① ② ⑤	② ⑥ ⑤	③ ⑤	③⑥ ⑤	③⑥ ⑤	③④ ③	③④⑥ ⑤⑦	③④⑥ ⑤⑦	⑥⑦	④⑥ ⑦	④⑥ ⑦	⑤⑥
5年生	①②	⑥	⑥	③⑥	③⑥	③④	④⑥	④⑥	③⑤	⑤⑦	⑤⑦	⑥
4年生	①②	②	⑥	③	③	③④	④	④	③⑥	⑦	⑦	⑥
3年生	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
2年生			③	②	②	②	②	②	②	②	②	②
1年生						③	④	④				